



町室所 伊方町 尾上八幡宮 電話 5001

正しい通学マナー学ぶ

交通事故……嫌いな言葉の事故を防止するため、全校児童を右をく見てわたりましょう。一つです。また、毎日どこかで目で見耳する交通安全教室を開きましに指導を受けました。特事故のうち、道路への飛びた。事故には、小型信号機をセトだしが一番危険です。家庭のみで正しい交通ルル、通学マナーの徹底をはかり、先生やおまわりさんが「信号がかわい子」を事故から守りま

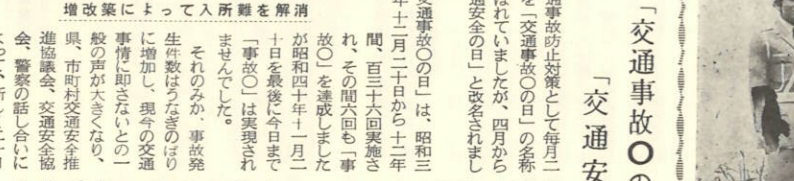


河内に砂防ダム 県工事で完成

伊方大川の支流にあたる河内の式ダムです。芝の元に砂防ダムが完成しました。この砂防ダムは、県営工事総へへの流土を防止するため築造した工費三千四百六十二万円で建設された。ダムの規模は、一番高いところダムのコンクリートの重量が、五メートル、中央の有効高よって土砂の流れを防止する重力が、五メートル、長さが四十八メートル、幅では上部が二メートル基礎部の最も厚いところ、四メートルもあり、一万七千七百立方メートルの土砂をためることができま。この量は、二万本三三三トンになり、二二二積のタンプカーで約二万三千台分の土砂です。本町内に築造されている砂防ダムのなかでは、一番規模の大きいものとなりました。

増改築なった九町保育所 定員120人に

九町保育所が増改築されました。いままで建てていた便所と二つの保育室をとりこわして、新しく七二二二万円の費用で木造平屋建(面積二百二十五平方メートル)の保育室四室、便所であり、子どもたちの世界であを建築しました。また、それと同時に乳児室、さい故事部室を七十八万円改築し立派な施設になりました。同保育所は、定員九十八人でしたが、入所希望者が多く、定員数の関係上、毎年一部のよい子どもの入所をこわらざるをえませんでした。そこで町では、こうした子どもたちの入所をかなえるため増改築したのです。増改築によって定員は、九十八人から百二十二人増員されました。また、園児が三十人増員されたことにより、保育さんも一人ふ



「交通事故〇の日」が 「交通安全の日」に 「犯罪〇の日」も 「防犯の日」に改名 毎月五日は「犯罪〇の日」となっていました。四月から「防犯の日」に改名されました。当日が、日曜日、祭日の場合は、交通安全の日と同じように翌日まわになります。青少年は「愛の声」を、また家庭では「一家団らん」を、話し合いの場を多くつくり、犯罪のない明るい町づくりに町民ひとりひとりが自覚しましょう。

鉄塔の高さ45メートル

堂々山公園の興く完成了。望台横に国鉄の手、鉄塔はパラボラアンテナがとによって無線中継につけられ新幹線の電波送信が塔が現在建設されています。堂々山(標高四〇七メートル)これは、国鉄の昭和三十六年六月完成し山陽新幹線建設に電々公伊方統制無線中継所が伴う東京、門司、あるほか、電々公は、もう一間を結ぶ無線中継基無線中継所の建設が進められて所の第二ルートとあり、山の頂上はマイクローエーして新設されるもブの基礎はなりつてあります。公園まで全線舗装が地上四十五メートルあり、ちうす町では、町道中浦出ヶ公園であ



パラボラアンテナの取付けを待つ無線中継塔

やめよう悪質行為 警察官人形が破損 仁田之浜の国道端に設置されて係からとりのぞきました。たかく日本のモラル(道徳)の低下がさげはれている時、こなたらからか無様に破壊された悪質行為が発生したことは、この警察官人形は、昨年の八月、まことに悲しいことでした。淡浦の有限会社飛田建設代表者飛田求氏の好意で、交通安全防止に破損されたのを見かけますが役立てほしいと寄贈され設置したものであります。伊方交通安全協会は、この状態、放置しておくのは見苦しい関、必要ではないでしょうか。





